



## 昨年12月の事業計画変更反対意見書912通を東京都がまとめたものです。これから行われる口頭陳述と共に都の審議会にかかります。

項目別 分類	意見書の要旨
と 事業計画全般に関するこ	<p>事業計画変更案に反対する。</p> <p>地権者や住民の思いを無視して決定した換地設計図を基にした今回の事業計画変更案を認めることはできない。</p> <p>事業費がさらに膨らみ、事業期間の完了見込みも立てられないような事業は即刻中止すべきである。</p> <p>不十分な情報公開で進められ示された今回の事業計画変更案には到底賛成できない。</p> <p>民意など反映されていない中で決定された事業計画を基にした今回の事業計画変更案は認めることができない。</p>
設計に関するこ	<p>変更計画図は住民との約束や住民の意見を無視して作られており認められない。</p> <p>変更図面は期間や権利者の財産と精神的な負担について全く考慮されていない。</p> <p>現道は無視した碁盤の目（格子状）の道路により、ほとんどの家屋が移転を余儀なくされる、歴史的景観やふる里を壊す無謀な事業は認められない。</p> <p>変更案の道路比率は、現在の14%の倍以上の約30%もあり、道路率が高く、道路が多すぎる。日照等の生活環境の悪化も招く。減歩や清算金の負担も大きい。</p> <p>幅員4m未満の道路だけ広げれば防災上十分である。</p> <p>安定した地盤を難壇造成したり、防災井戸14箇所保存が難しくなるなど、安全面からも問題の多い設計図面のため認められない。</p> <p>大きな公園や防災井戸がなくなるなど、住民にとっては不便で危険な地域になる、今回の変更図面は安全性、快適性、利便性に問題があるので認められない。</p> <p>事業計画変更案では、多くの家が現在の道路の上や井戸の上に移転しなければならない。</p> <p>変更案では、2つの大きな公園がなくなり、小さな公園が散在するが、小さすぎる公園は公園としての機能を果たさない。</p> <p>防災面で重要としていた第2号、第3号公園は分散・縮小され、計画性のない点在するポケットパークになったが、区域内の住民が避難する防災公園等統一した公園整備が望まれる。</p> <p>なぜ道路が必要なのかかわからない。狭くて困っている道路はない。</p> <p>道路中心での十字路口が多く危険である。</p>
減 歩 に 関 す る こ と	<p>先行取得地を道路等にもっと充てれば減歩や清算金を下げられる。</p> <p>一般自動車が少なくなる傾向の中、6m幅の道路は不要なため、道幅を狭くし、減歩を少なくすべき。</p>
資 金 計 画 に 関 す る こ と	<p>無駄で無謀な事業に370億円もかける愚行は止めるべき。</p> <p>総事業費が370億円と莫大な額になっているが、鎌倉街道のような歴史的な道路をいかし、お金が掛からず、住民の負担も少ないまちづくりに変更すべきである。</p> <p>今回の変更で総事業費355億円が370億円に増額されたが、財源の裏付けが不透明であり、財政交付団体の羽村市の財政力では、当該事業の単行実施は、財政破綻を招きかねない。</p> <p>羽村市の年間予算総額は約200億円で、その25%以上に当たる年間59億円を区画整理に使う資金計画は、無謀な計画であり、膨大な借金を抱え込むことになる。</p> <p>収入が不確実な資金計画は土地区画整理法施行規則の10条（資金計画に関する基準）に外れる事は明らかなため、即刻事業の中止を判断する内容である。</p> <p>今後の事業費用約240億円を調達するには少なくとも50年あるいは100年要し、その間住民を縛り、不安を与え続けることは行政として誤った行為である。</p> <p>事業計画変更書類のための数字であり、でたらめな資金計画を立てる本事業に反対する。</p> <p>新都市建設社に丸投げで、権利者や市民に説明責任を果たせなければ、減員減額すべきであり、人件費増を理由とする本事業に反対である。</p> <p>都の補助金は元々都道、駅前広場、都市公園のための買収費、建物補償等のためではないのか。</p>
	<p>現道をいかし、もっとお金をかけない住民負担の少ない事業にすべき。</p> <p>事業変更案は時代の要請にも合わず、見直す必要がある。</p> <p>権利者の財産及び精神的な負担について全く考慮されておらず、劣悪な事業のために減歩や清算金、移転や仮住まい等の負担に応じることはできない。</p> <p>環境を破壊し、住民や市民を苦しめる事業は止めるべきである。</p>

事業全般に関すること

地域に根付いて生活している西口住民と手を携えての「まちづくり」を進めているか。誰の方を向いての「まちづくり」なのか。

市税収年間約 100 億円のうち、年間約 59 億円を区画整理事業に投入するとすると、市政で重要な教育や公共施設維持管理等への支出が区画整理実施中は不十分となる。

市は「安全に配慮した」、「福祉に配慮した」、「コミュニティに配慮した」、「景観に配慮した」まちづくりだとしているが、この計画図のどこにそれらがみられるのか。お題目は派手でも具体性は何も見えない。

本件土地利用計画は何ら公共の福祉の増進に寄与するものではなく合理性はない。むしろ悪化させる危険をはらんでいる。

図面には理念もないし、都市計画としての技術としても非常に幼稚で能力の低い図面である。

多くの住民が反対する事業を実施するからには、全てに関わる費用を市が全額負担すべき。

人口計画は、事業認可を得るために必要とされる数値を根拠もなく並べ立てるだけでは合理性はない。

東日本大震災の復旧、オリンピック開催、消費税値上げ、それでも区画整理をどんどん進めているのは不可能な計画で、大反対である。

既成市街地を区画整理手法によってまちづくりすることの無理さが浮き彫りになっている。

羽村市の事業であれば、区画整理区域内の住民だけが犠牲になるやり方は、不公平であり賛成できない。

羽村駅西口土地区画整理事業の事業計画書 3 ページ⑤地勢において、誤りがある。

自然と調和のとれたまちづくりの方がよほど公共の福祉増進に合致するものである。

事業全般に関すること

都市計画事業も都が「補助金を出すから、区画整理でやれ」、「区画整理は当然にやらせろ」と押し付けてきた。

本事業は一刻も早く撤回し、必要性のある 3・4・12 号線と駅前広場は早期に完成させろ。

平成 15 年に事業計画決定してからもう 10 年、まだこの程度のものしか示せないのか。

区画整理の道路を東西南北の街並みにしてほしい。

市は換地だけを優先しますが、その他の重要課題には意識薄弱であり、この計画は深刻な人災と言わざるを得ない。

羽村駅西口区画整理は、上下水道も完備している閑静な住宅を破壊し、ほとんどの家屋、約 1000 戸を移転させ並べ替えるという無駄で無謀な事業である。

都市計画に関すること

駅前広場、3・4・12 号線、3・4・15 号線は、都市計画道路事業に変更して整備を早期に実現すべき。

最大幅 40 m の都市計画道路を筆頭に 4 本の都市計画道路は広すぎる。

来る当てのないモノレール誘致のために、巨大な通過交通の道路計画は、環境を破壊するばかりでなく、高齢化を迎えた住民の生活の安全性、快適性、利便性を損なう。

40 m を狭くして権利者の負担を軽くしろと言いたい。

3,600 m<sup>2</sup> の交通広場は必要ない。

駅前道路幅 3・4・13 号線も 20 m 幅は必要ない、駅前広場も東側とほぼ同じ面積は必要ない、縮小すべきだ。また、幅 7・5・1 号線は必要ない。

公共施設計画には、幅員 40 m 道路が計画されているが、何に使う目的なのか地権者には何ら具体的な説明がない。

3・4・15 号線の延長を奥多摩バイパスまでつなげる工事は無用である。

事業の進め方に関すること

住民への十分な説明は行われず、反対や見直しを求める地権者が多く、住民の理解も得られていない。

羽村市の住民を無視して進めるやり方は人権問題で、多くの住民が反対している。

何一つ良いことがないのに、一方的に住民に圧力を掛けてくる羽村市のやり方に断固反対する。

住民に対し誘導的なアンケートを実施し、住民をだまししながら嘘とごまかしだらけで進めてきた羽村駅西口区画整理に強く反対する。

これだけの大きい支出は財政破綻の道を突き進むことになる。「止める勇気」の政治判断が必要である。

数十年前の計画に固執し、硬直した思考で住民に負担を強いるのではなく、当初あったはずの最小案も含め、大勢をシフトする勇気を持った、プロとして当然の仕事をして欲しい。

平成 14 年に市は現道をいかに大きく見直す事を約束したが、平成 20 年の第 1 次換地設計案で見直しは行われず、その後、換地設計を決定したら見直すと言ったが、換地設計決定図面も現道をいかにした見直しは行われていない。

88 街区計画地区をどのような形で築造工事を進め何年でできるか、市長自ら見通しを示すべきである。

移転補償の財源内訳や清算金の清算額も不透明で事業委託者に丸投げ的で、個々の住民と膝を交えて話す行政姿勢がない。

建替え時の補償や清算金についても確定した時点でないと回答できないとし、権利者を不安な状況に置き、形ばかりの事業を先行させている。

市は分からないことがあれば縦覧時に来いという姿勢だが、2 週間の間に見に行くこと自体が無理な話だ。

事業の進め方に関する事	平成4年、羽村市は市と一部の地権者が「3点合意」なるものを決めたと勝手に主張している。
	苦言や意見を言う人を排除するような市長では、この事業はできない。
	将来に通じる大事業なのだから市長以下職員は真剣にやるべきだ。
	区画整理審議会委員は、一軒一軒の縦横の照応を確認する必要があるが、審議会で行っていない。何のための守秘義務か。各個人も、他の権利者の減歩や土地の評価は個人情報だとして横の照応の確認ができない、おかしな話だ。
	平成29年度からの財政負担が50億円なら、それにより実行できなくなる市民サービスが何かを示し、市民の民意を問うべきである。
	計画案は事業目的を明確にして提案し、権利者に判断してもらい合意を得て、減歩や清算金をお願いすれば、大方の権利者は納得する。
	権利者自らに測量させて申告せよとの今回の方法より、施行者による測量実施の方が権利者間の不公平感が解消し、自身がまちづくりに参画する意識も向上する。
	換地設計基準や土地評価基準で決めたというなら全て公開すべきであり、できないならこの事業をすべきでない。
	縄伸び申請についても、締切りは広報された期限より延長されていて一部の権利者は縄伸びが認められていた。平成18年11月までと思いつめ、縄伸び部分が測量していない地権者に分けられて(按分)しまった権利者もいる。
	平成14年の都市計画審議会での附帯意見「事業の実施に当たっては関係住民にさらに十分説明を行い円滑な施行を図ること」に違反している。
清算金が残らなくなるかわからない状態である。重大なことを曖昧にしたまま事業を進めるのは問題である。	
環境に関する事	環境アセスメント調査実施・分析が希薄で事業実施は不可
	道路だらけになれば、緑や湧水等の自然環境が破壊されてしまう。
	地学教育的においても多摩川の河岸段丘を破壊せず残してもらいたい。
	緑のまちを保存しながら土を残し、雨水を川へ流すのではなく地面にしみこませ、住み良い羽村にしていきたい。
	この地域の緑被率は30%を超えており、事業を進めることで減歩による宅地の狭小化や生産緑地の激減で、緑は激減することは明白である。
換地に関する事	決定換地は、現在より住環境悪化などが見込まれ、照応の原則にも反する。
	先行取得地を事業管理用地という土地として25か所ほどにばらまき、不公平極まりなく、半端な土地が有ること自体設計図とはいえない。
	第1回の換地設計案には580もの意見書が提出され多くの地権者が反対や見直し修正の意見を提出しているが、換地に関する意見のみを審議対象とし、その他の意見は切り捨てた。2次換地案にも420名以上の反対署名が提出され、地権者合意も得られていない。
	権利者から減歩で土地を出させ最後は都有地、市有地になるこんな矛盾した話はない。
	事業計画とその進め方に問題がある換地設計通知に反対する。
	市は隣接する権利者は購入することもできると説明した。「増し換地」の手法さえとらなかったのに、不公平極まりない話だ。
	6haにも満たない駅前市街地と20ha以上の第一種住居専用地域を同じ土地評価基準で整備しようとしているところにも、公平性を欠く基本的問題がある。
	換地設計図を決定するために、寄せられた意見書のうち反映されたのは約15%。85%の意見は反映されておらず、これでは反対者が減る状況にはなく、事業は遅々として進まない。
	減歩率が33%は高すぎる。
	平均減歩率が下がっているのに換地設計決定通知では変化がない。先行取得地が大幅に増えているのに減歩が下がらない。こんないい加減な事業は断固反対である。
将来の羽村のためになる教育予算にかけず、金も生じない「ゆとりぎ」等に巨額の金をかける市長だから、こんな換地図を出して決定ですと言えるのだ。	
清算金に関する事	ローンを抱える家族に何百万円にもなる可能性のある清算金が請求されることは、不安と苦痛の種であり、人権問題である。
	減歩・清算金、特に不明な清算金(時期も金額も不定)を支払う責任は私自身持てない。
	30mほどの不本意な移動を強いられ、清算金約160万円もの大金を支払う義務が生じ、到底払える額ではないが、払えなければどうなるか。
	清算金を払うのに借金をせよとの回答であり、なぜ私どもが借金を強いらなければならないのか。
	減歩が多く、清算金も多額の徴収。納得いかない。
移転補償に関する事	2~3m動かす為には家はボロボロになり、道路の上に行くのはいやだ。
	換地決定では、住居の取壊し、植木、植物の移動費用の捻出が困難であり、補償が具体的かつ明確でない。
	今までの現住所でよく移転しません。
	2度曳家することになり、引っ越しは3度になる。精神的、肉体的、経済的に負担が重すぎる。
	築21年の家を曳家されて傷みが増し、長期仮住まいを強要されるが、仮住まいの居所まで私どもが探して煩雑な手続をしなければならない。
施行期間に関する事	平成33年までの完成は不可能。
	市は事業期間の変更手続で済むかもしれないが、私たちは生活設計ができず困っている。
	事業は既に大変な年月が過ぎてても進行が遅く、いつ終わるか住民はもやもやした気分で過ごしている。

	反対の会は、もっと都の公社と区画整理の関係を住民に伝えるべき。事業が住民のためのものでないことを住民が確信していないと事業は止まらない。
	地権者は減歩など土地を取り上げられ、市民は一人約45万円という高額な負担となる。
	第二次第6回の審議会議事録がほとんど黒塗りされ、異議申立てに、市長が諮問した審議会が「より多く開示を」を答申し、市長は従った。市長は、誤りを謝罪すべきなのに、回答しないと内部で決めた。答申に対して反省がなく、無意味に黒塗りした私に関する同様の議事録内文書について、まだ釈明されていない。
	区画整理でもうかる東京都新都市建設公社、それにたむろする建設土木業者らのためになぜ住民が犠牲にならなければならないのでしょうか。羽村市・東京都の職員達は住民のために働いて欲しい。
	都道である都市計画道路及び公園は都の基準により全て買収とする。
	知事のしっかりした目で視察に来て下さい。
その他	「主権在民」から市長の行政姿勢について確認していく予定である。
	事業計画変更案の370億円のツケを子ども達に回すことが「いきいき生活、しあわせ実感都市はむら」なのか。
	幸せが詰まっている庭を減歩で取り上げないでください。
	公共事業に掛かる予算は市税から捻出されるが、この公共事業によって羽村市民に還元できるか疑問である。
	消費税が上がると、物価も高騰したら、家の改築も建替えもできなくなるが、市長は補償してくれるのか。
	高齢なため、移転や建替え、清算金の支払いをする力がない。
	日本は民主国家のはずなのに下意上達のシステムがない。
	トップの行政官ですら私利私欲の無能者である。
	時代の変化が激しいのに大胆に柔軟な発想の転換ができない。
	もしこの事業内容に正当な理由、適正な予算、市民に対しての還元ができ、公の場で約束できれば、羽村西口の住民、羽村市民も喜んで協力する。
静かな町並み、交通の便の良さ、その他この地域での生活を十二分に満足しており、いつまでもこの素敵な羽村市で生活できることを望みます。	
土地が減っても固定資産税や相続税は上がる。	
仮店舗を用意するとの議会での約束も守れない。	
今まで終了した地域でどこが美しいのか。	
経常収支比率97%で、もし借金で賄うとしたら第2の夕張だ。	
事業計画決定時の意見書は、推進派が該当地域と全く関係のない東側の町内会の回覧板や建設関係の団体を使い、4枚綴りの推進意見書を集めた事が分かった。	
平成8年頃農協本社で話があり、10年後には移動になる話でした。その時は仕方ないという気持ちで10年間住めるように子供部屋を増築した。計画について行くことができません。	
日本の歴史ある所は古さを出して、他の街と違う個性ある市にしたい。	
担当職員は責任取りなさい。	
この計画案で工事を済ませた場合、方向の内容が無視されているため、工事について損害賠償の権利を保留することを付け加える。	
この事業で最初に移動させられた人の境遇を旅行者に尋ねていただきたい。	
縦覧に行ったが先客の対応で、40~50分待たされ、次の予定を過ぎてしまったため、縦覧できずに帰らざるを得なかった。	
先着者の相談内容や市の回答がはっきり聞こえなかったが、個人情報等市の定めと矛盾しているのではないか。	
法第52条に耐えられない事業計画変更案の内容であるから、法第123条による事業費収入の確実性を担保する具体的資料の提出を求め、必要な報告や助言を行うべきである。	
認可庁である東京都も約97億円の補助を予定していますが、このようなずさんで無謀な事業、その上、多くの住民が反対の意思表示をし続けている事業は都税有効活用の観点からも事業の中止を指導すべきです。	
現在、何不自由なく、地域の仲間と仲良く暮らしているが、この生活が区画整理で壊されてしまう。	
宅地の庭が削られ、家々が密集し、危険極まりない。	
地域住民を疑心暗鬼にさせ、人間関係も壊してしまう非人間的な事業である。	
災害時のために、井戸の水質検査をしながら保持しているが、それを埋めて処分しろとはどういうことか。水利等の照応の原則に合っていない。	
商業地域として高い価格で購入したのに、新しい区画では住宅地域となり、今と同じ広さの家に住むことができない。	
市長と公社の理事長と都の都市計画局長は、住民一人ひとりに頭を下げに来い。	
住民がやめると切に願っている事業を止められない理由は、官益事業であるためだ。官を養うための腐った根性がこの事業を止められない。	
大量生産、大量消費、大量廃棄の時代は終わった。しかも少子高齢化だ。バカデカイ道路は不要だし、迷惑だ。	